

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日： 2024年3月6日

事業所名： ルーチェスタジオ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	療育に必要なスペースを確保している	「はい」14名	スペース確保の為に机の配置・整理整頓を徹底する
	2 職員の適切な配置	基準配置より多いスタッフを配置している	「はい」14名	スタッフはネームプレートを着け、保護者の方の来所をいつでも可能にしている。全スタッフが児童指導員の資格を有する。専門性の高いスタッフを配置している。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	適切な設備整備を行っている	「はい」13名 「どちらともいえない」1名	問題点がでてきたらその都度改善し、より良い環境を提供できるようにする。カラフルなマットを配置し学習空間を認識出来るようにしている。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	室内の清掃、換気、消毒を行い清潔感のある空間を提供。学習空間と遊び空間を分けている	「はい」14名	これまで通り、清掃を行い清潔感を保つ
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	プログラムの記録など、改善案があればその都度話し合いを行い、改善を重ねている		引き続き、全スタッフが意見を述べやすい環境を整え、積極的な参画を目指す
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施なし		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	年に1度、虐待防止研修を行っている 外部の研修会を受講できる機会を設けている		虐待防止研修以外にも必要に応じて研修の実施を行う
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者との面談の機会を作っている。アセスメントを丁寧に行い、日々の児童の様子を参考にスタッフ会議を行い個別支援計画を作成している	「はい」14名	今後もアセスメント、保護者面談を適切に実施し、相談内容や日頃の様子を参考に個別支援計画を作成していく
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別プログラムと集団活動を組み合わせ子供の状況に応じて目標を立て、放課後等デイサービス計画を立てている	「はい」14名	日頃の様子や保護者からの相談内容を参考に作成していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
提供	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別支援計画に具体的な支援内容を記載するように努めている	「はい」14名	スタッフ会議を行い、支援内容を考える
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員全員が計画内容を把握し、計画に沿った支援を実施。個人ファイルで個別支援計画の確認ができるようにする		本人や保護者の要望を聞きながら無理のない内容で計画を立て実施していく
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	スタッフミーティングにて活動プログラムを立案し、プログラムが単一化しないようにしている		日々職員同士が意見交換できる時間を作り、アイデアを出し合う
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は児童別に個別のプログラムを用意し、学習や作業の支援を行う。休日は主にイベントとしてお出かけや、クッキングなど、集団活動を行っている		引き続き児童のニーズに合った支援を心がける
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	個別プログラムは週替わりで用意し、イベントも季節に合ったものを取り入れ固定化しないように実施している	「はい」14名	スタッフミーティングで案を出し合い、児童が楽しめるプログラムを実施する。時には児童にも声掛けし案を出してもらう
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	利用児童、送迎時間、担当スタッフなど、その日の情報を1つのボードに集約し、役割分担を徹底。支援内容はプログラムごとに準備し、どのスタッフが担当してもわかるようにしている		引き続き、ボードの情報に間違いがないように徹底し、全スタッフがその日の役割を把握できるようにする
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援内容や子供の様子はプログラムごとに記録を残し、翌日担当するスタッフが目を通すとわかるようにしている		引き続き、全スタッフが把握できるよう書面で記録を残してスタッフ会議で改善策などを考える
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	各記録は確実にいき、支援の内容、改善すべき点には話し合いの機会を設けている		各記録に不備がないよう、日々のチェックを行っていく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に1回のモニタリングを実施し、計画書の見直しを行っている	今後も半年に1回以上のモニタリングを実施し、計画書の見直しを行う
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	実施なし(セルフプランの利用児のみの為)	対象者がいれば、児童発達支援管理責任者が参画し、職員に情報共有を行っていく
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	実施なし	該当なし
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	進路希望対象者(保護者)の希望があれば相談支援員等を紹介し調整を行う。卒業後の進路にスムーズに移行出来る様情報提供を行う。	今後も対象児童には必要に応じて次の支援先への情報提供を行っていきたい
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	正社員には専門機関での研修受講を行っている。また、全スタッフ対象にオンライン講習を研修として実施	専門機関での研修受講を進めていきたい
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	イベント時に児童の家族を招待し各家族の兄弟姉妹と一緒に活動を行い交流を重ねている。	「はい」無し 「どちらともいえない」2名 「いいえ」4名 「わからない」8名 色々なイベントを催し交流を深めていきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	日頃から児童とともに地域の方へ挨拶をするよう心掛けている		夏祭りやハロウィンパーティー等の参加し易いイベントに気軽に足を運んでもらえるよう開催を告知する。	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時、面談時に書面、口頭で行っている	「はい」14名	引き続き適切に実施していく
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	契約時、支援計画の更新の面談時、質問がある時には随時丁寧に説明を行っている	「はい」14名	今後も丁寧に説明し、不明点があれば随時説明していく
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	面談時に教室での児童の様子や今後の課題等をお伝えし進学や進路に際して慌てず対応が出来る様にアドバイスを行っている。	「はい」11名 「どちらともいえない」1名 「いいえ」1名 「わからない」1名	保護者へのアドバイス等は今後も行っていく
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時には対面でお話しし、利用日以外でもSNSで相談や日々の様子を伝えるなど共通理解を徹底している	「はい」13名 「どちらともいえない」1名	引き続き、ご家庭とデイの様子を互いに情報交換し、共通理解に努めていきたい
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からの相談については定期的な面談以外にもSNS等で気軽に相談出来るシステムを実施している。	「はい」14名	引き続き、保護者のご要望に応じて定期的な面談以外にも個別面談の機会を作っていく
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	年間計画の中に運動会や喫茶イベントを盛り込み保護者の来所を促している。	「はい」3名 「どちらともいえない」4名 「いいえ」3名 「わからない」4名	保護者同士の交流の場として、保護者主体での行事も増やしていきたい
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があった場合には真摯に受け止め日を置かずに対応している。	「はい」13名 「どちらともいえない」1名	心配事などどんな些細なことも話しやすい環境を整えていきたい
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	日々の変化を連絡帳やSNS、送迎時に伝えている	「はい」14名	引き続き、わかりやすい情報伝達に努めていく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	スケジュールの配布、SNSで発信、連絡帳の記載により子供や保護者へ発信している	「はい」13名 「わからない」1名	引き続き、スケジュール、SNS、連絡帳にて発信する	
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人ファイルは鍵付き書庫に保管し、書類の破棄にはシュレッダーを使用している。スタッフにも利用者の個人情報の取り扱いについて徹底させている	「はい」14名	引き続き、適切に実施していく	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルを策定し、職員への周知は行っているが、保護者への通達は行えていない	「はい」11名 「どちらともいえない」1名 「わからない」2名	定期的にマニュアルを更新し、保護者への周知に努めていく。緊急時の対応の充実を図っていきたい
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回の避難訓練を実施	「はい」10名 「わからない」4名	引き続き、半年ごとの避難訓練を実施する
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	新入社員には入社直後、既存職員には年に1度の虐待防止研修を実施		スタッフが不安や疑問に感じる際に適宜対応する
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在まで身体拘束が必要な対象児童がいないため、説明や計画書への記載はなし		今後身体拘束が必要になる可能性のある児童が利用する際には、契約時に保護者への説明を行い、放課後等デイサービス計画書への記載も行っていく
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	医師の指示書の提出までは求めていないが、保護者からの情報に基づき、おやつなどは除去対応し、スタッフ間でも情報共有を行っている		誤食がないよう、おやつ等を準備する際に食物アレルギーの利用者がいないか確認できるよう掲示する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	発生した事例は全スタッフで共有し、再発防止の徹底を図っている		書面でのヒヤリハットの作成と、全スタッフで共有するための話し合いを行っている